

春季連休中行仙宿への来宿者の対応と補修作業(破損窓ガラスの処 置、薪割り、モノレール終点下の補給路補修)

◇実施日：2018年05月03(木・祝)～5月04日(金・祝)

◇参加者：乾 克己(5/1～4)。畑林秀味、中前 偉(5/3～4)。

沖崎吉信、湯川一郎(5/3)。川島 功、濱野兼吉(5/4)。

計7名、延9日。

5月03日(木・祝) 曇り後晴

(来宿者7名)

5月3日、4日と行仙宿小屋来宿者対応の当番にあたった。

午前7時半、熊野川行政局にて畑林さんと合流。小生の車に荷物を積み替えて出発した。昨日、国道425号はトレーラーが脱輪して通行不能のことであったが、夕刻には解除されたらしい。

1時間余りで補給路登山口に着くと、先着の沖崎さん、湯川さんが、荷揚げの準備中。我々の荷物もモノレールの荷台に乗せてもらい空荷で登る。終点で荷物(缶ビール2箱、食料等)は、4人で分担。10時半に小屋に着くと、1日から当番している乾さんに挨拶。



モノレール終点で荷作り



行仙宿・行者堂に到着!

到着後、最初の作業は割れた窓ガラスの処理。前日、管理棟前の斜面を滑落し、お尻から突っ込んで小屋北側のガラスサッシに突っ込んだようだ。よく怪我しなかったものだ。

粉々に割れたガラスを焼却炉近くに埋めて、室内は丁寧に発電機を動作させ掃除機をかける。サッシは取り外して板をつつかえ棒で押さえて応急処置した。

そろそろ昼食タイム。持ち寄った、めはりずし、松茸ごはん、マグロの中落ちなど、豪勢な昼食だ。



滑落場所



応急処置



夕餉

午後は薪割りなどの作業をする。15時前に沖崎、湯川さんが下山する。

そのうち宿泊者も入ってきた。水汲みをお願いし、宴会の準備。夕刻17時過ぎにはテーブルにごちそうが並んだ。

畑林さん提供のマグロのカマ、中落ちなどを下鼓。ビールは春限定軽井沢高原地ビール(茂原 治・名誉会友が缶ビール5箱寄贈)。投宿舎は、山で予想もしないマグロ中落ちで等で大喜びであった。同宿者と20時過ぎまで歓談し、全員就寝した。

投宿者は、男6名 女1名。大阪、岐阜、千葉、滋賀各1名、

兵庫3名。であった。



中落ちと地ビール



マグロのカマ塩焼き



夕食談笑中

5月04日(金・祝) 晴・強風

夜中は冷え込んだ。寒さで何度か目が覚め、畑林さんがストーブに薪を足しているのが分かった。

6時半に起床すると最後の2名も出発するところ。朝食を終え、乾さんは7時15分に下山した。

風が強く気温も低く、中ごろごろしているところ、川島代表と濱野さんが上がって来た。二人はコーヒーを飲むと休む間もなく川島、濱野・中前は、大ハンマー、トンガと各自横棧木を背負って、モノレール終点下の補給路の段差補修に下りる。小生も何本かの棧木とハンマーを持って作業に加わった。

横棧木の無い段差、腐朽の棧木段差を取替え大ハンマーで叩き固める作業を行い、約16本・16段を補修した。

作業も一段落して再度小屋に戻り、カップ麺と川島代表から「いなりずし」を頂いて昼食を済ませ、午後1時15分、畑林さんと二人下山の途についた。

(記：中前)



棧木を運ぶ



棧木取替え補修作業



棧木取替え補修作業



棧木取替え補修作業



行仙宿に戻り昼食



行仙宿から下山前



小屋前にシロヤシオの枝が